

ごあいさつ

このたび日本インターンシップ学会 第16回大会を、2015年9月12日(土)・13日(日)の2日間の日程で、近畿大学 東大阪キャンパスにて開催いたします。

今大会のテーマは「**地域協働・産学連携— 関西のかたち**」です。関西支部が大会運営を担当するのは第12回大会(鳥取大学)以来4年振り2回目ですが、事前に支部で検討した結果、予てより構想していた「関西らしさ」を打出す大会運営を目指すこととしました。

関西は、ブロック別にみますと、関東と並ぶ大学集積地です。経済力では関東に大きく水をあけられる中、関西各地では早くから「大学コンソーシアム」が発達し、単位互換のみならず、インターンシップでも着実に実績を積み上げてきました。こうした大学間連携に着目して、大会初日のプログラム **基調報告会「関西における大学間連携のかたち**」を企画しました。具体的には、関西を代表する3つの大学コンソーシアム (大学コンソーシアム京都、大学コンソーシアム大阪、南大阪地域大学コンソーシアム) のインターンシップご担当者をお招きし、意欲的な取組みについてご報告いただきます。また、基調報告会4番目のゲストとして、中四国(関西支部に入ります)の国公立大学を中心にインターンシップ支援などで活躍されている大学生生活協同組合のご担当者をお招きし、先進的な「学びと成長の事業」などをご報告いただきます。

大会初日のもう一つのプログラムである**シンポジウム**は、「**大阪・兵庫・和歌山での地域連携の実例**」と題し、3府県のインターンシップでご活躍中の方々をお招きします。大阪府については、羽曳野市商工会を中心とする地域密着型のインターンシップと、それを端緒にPBLに発展した事例などをご紹介いただきます。また、兵庫県については、神戸新聞社を中心に地元の産官学が連携し、大学生と地元企業のマッチングを目指す「Mラボ」の活動などをお話しいたします。和歌山県については、地域ブランドの「有田みかん」で6次産業化を推進されている早和果樹園におけるインターンシップの取組みなどをお話しいたします。いずれも、近年話題の「地域創生」につながる貴重な事例ですので、この**シンポジウム**を**非会員にも無料で公開**することとします。なお、基調報告会とシンポジウムに登壇された方々には、懇親会にも原則としてご出席いただく予定です。この**懇親会**(非会員にも公開、有料)を、積極的な意見交換の場としてもご活用ください。

大会2日目には、**分科会**を開催します。4会場に分かれて、合計21件のご報告を予定しています(会員の皆様から多数のご応募をいただき、ありがとうございました)。

また、大会閉会後には、有志による2つのエクスカージョンを企画しております。開催校の近くにある「司馬遼太郎記念館見学ツアー」と、電車で奈良市内まで足を伸ばす「ならまちツアー」です。地域の実情を掘り下げてご理解いただく一助になれば幸いです。

最後になりますが、今回の大会は多くの皆様のご協力により実現する運びとなりました。関係者の皆様のご尽力に、改めて厚く御礼申し上げます。

(第16回大会実行委員長/関西支部長 安孫子勇一・近畿大学)